

# Tokyo Souvenir

by The Group 1965

New Tokyo Public Art Program - (Conjunction with graffiti project from Berlin)

「みやげ」は、旅行の記念や、人へ気持ちのために購入するもの。それは、ものであると同時に、思い出や、人への気持ちをのせてゆく。そんな「おみやげ」は人々の日常の生活の中にありながら、どこか、いつもの日常生活と少しシフトした大切な何かとつながっているときがある。

「東京おみやげ」は、「おみやげ」というひとつのきっかけ、アートの力によって、街と人との関係を見てゆこうというプロジェクトである。また、「東京おみやげ」は単に、アートを受け手に提供するのみならず、そのプロジェクトに人々が参加して主体となるシステムを作ろうとしている。写真を主体とするブログを設け、そのブログに各自が書き込み、アップすることによって、さまざまなひとたちが、「東京おみやげ」を提案したり、投票できるようにしたいと考えている。言い換えれば、これは、ひとつのパブリック・アート・プログラムである。美術館の箱の中ではなく、街の中に存在するアート作品が、人々と街との関係あるいは世界の見方を、シフトして気づかせてくれるプロジェクトがパブリック・アートである。パブリック・アートはなにもモニュメンタルな彫刻を広場に配置するものだけではない。

第1弾は昭和40年会の考える「東京おみやげ」。どんなお土産が出てくるか楽しみにしてください。

トーキョーワンダーサイト  
今村有策

[Souvenir] is something bought for commemoration of the travel or expression of the feelings. It is a certain something, as well as vehicle which carries memories and feelings to someone. While such [souvenir] exists in our daily life, it links with something important which sift from everyday matters.

[Tokyo Souvenir] is a project which considers the relationship between the town and people through art, taking the opportunity given by [Souvenir]. Moreover, not only offering the chance of getting in touch with art to the recipient, [Tokyo Souvenir] starts creating the system that people can participate in the project as subjects. One of the projects, which we are now proposing is setting up blog mainly composed of the photograph. Through this blog, various people can propose their own "Tokyo Souvenir" and vote for something to one's liking.

In other words, this is a kind of the public art program. The project reminds us that art works existing in "white-cubes" are not only art. Moreover, the public art which is found in town let us take notice of the relation between the town and people, sifting the interpretation of the world. The public art is not limited to arranging monumental sculptures in public areas.

We would like to begin with our first project, [Tokyo Souvenir] by The Group 1965. Do not miss it!

TOKYO WONDER SITE  
Yusaku Imamura

## 東京おみやげ

昭和四十年会

トーキョーワンダーサイト主催

漱石の時代であれば空也の最中か羽二重団子でよかつただろうけど、いまの東京を代表するおみやげって何だろう。「東京ば×奈」とかいう「東京都を代表する銘菓・名産品」があるけれど、あれて駅と空港以外で見たことないし……。

そこで、個性派揃いの昭和40年会に、21世紀の東京にふさわしいおみやげについて、アイデアを出してもらおうという展覧会が開かれる。会場は、東京でも一、二を争うショッピングエリアにあるTWS渋谷。併設するカフェ「KURAGE」では、40年会のつくるレシピに基づき、期間限定でスペシャルドリンク&フードを出すという。一般から、新しいおみやげ案を募るといった企画も検討中だ。

おみやげとは「挨拶代わりに」であり、「思い出のお裾分け」だ。「共同体の象徴」であり、「贈与経済の萌芽」とさえ呼べるかもしれない。アートによっておみやげとは何かを、ひいては僕たちが暮らす社会とは何かを考えるきっかけが芽生えると面白い。

REAL TOKYO・ART iT  
小崎哲哉

In Natsume Soseki's time, no doubt [monaka] bean paste wafers from the famous Kuya or sweet dumplings from Habutae Dango would have sufficed, but what would be a typical souvenir of Tokyo today? Sure there are confections and other local products said to represent the city, like those "Tokyo Banana" sweets, but have you ever seen them anywhere but airports or railway stations..?

That band of idiosyncratic artists The Group 1965 is to stage an exhibition therefore presenting ideas for souvenirs befitting the Tokyo of the 21st century. The venue will be TWS Shibuya, in one of the top couple of shopping areas in Tokyo, with the venue's Kurage cafe serving a range of special food and beverages based on recipes created by The Group for the duration of the show. Inviting the general public to submit souvenir ideas may also be part of the show, although this is undecided as yet.

Souvenirs take the place of salutations, and are a way of apportioning everyone a slice of our memories. They are a symbol of community, and maybe even the germ of the gift-giving economy. This exhibition will be interesting if it prompts us through art to contemplate just what are souvenirs, and in turn, the nature of the society in which we live.

REAL TOKYO・ART iT  
Ozaki Tetanya

2005年11月11日 (Fri) — 12月18日 (Sun) 11:00—19:00

入場料：無料 / Admission Free

@トーキョーワンダーサイト渋谷 (展示室およびカフェ) / TOKYO WONDER SITE SHIBUYA

入場は開館30分前まで / Entrance available until 18:30 休館日：月曜日、祝日の場合は翌日 / Closed on Mondays

\*ワークショップ：「昭和40年会の「東京おみやげってなに?!」—大喜利スタイル— 12月11日 (Sun) 15:00—17:00 (予定)

主催：トーキョーワンダーサイト / TOKYO WONDER SITE 企画協力：小崎哲哉 (REAL TOKYO編集長、ART iT編集長)



40x40  
PROJECT

## 昭和40年会とは？

有馬純寿、バルコキノシタ、小沢剛、土佐正道、大岩オスカル幸男、会田誠、松蔭浩之の7人からなるアーティスト集団。個々人がそれぞれ作品を発表する一方、「昭和40年に生まれた」という唯一の共通点を理由にグループとしても活動する。今年2005年は全員が四十路に乗るので、「40年会が40歳になることを祝う」ために『40×40プロジェクト』と題して展覧会やイベントを多数開催。詳しくはwww.40nen.jpを参照。

1994年、アートフェアNICAFの会場で、以前より面識のある若手アーティストが集まり話をしていたところ、偶然にも全員が昭和40年生まれということが判明、その場で「昭和40年会」が結成される。

以後、何度かメンバーチェンジを行いつつも、美術館・ギャラリーで定期的に作品発表を行い、97～8年にはスペイン、スイス、ドイツで展覧会を開催しヨーロッパ進出も果たした。1999年5月より現在のメンバーとなり、同年、初のコラボレーション作品として映画「晴れたり曇ったり」を発表する。各メンバーは個人として多方面で活躍している一方、この「昭和40年会」ではそれぞれの持ち味を活かしつつも肩の力を抜いた活動を行っている。各メンバーがそろって40歳となる今年、「40×40プロジェクト」と題し、それぞれのバースデーイベントを開催するほか、展覧会・イベント・雑誌連載など、精力的な活動を展開している。



## ■ 2005年展開中の「40×40プロジェクト」(10月20日現在)

- ・2月1日～3月6日、プロジェクト第1弾「昭和40年会の先達の気になる仕事ベスト10」展示(表参道NADiff)
- ・3月4日には塚本由晴、片岡真美をゲストにトークイベント「男(女)40歳、なにをなすべきか？」も開催
- ・2月1日、有馬純寿、表参道NADiffにてCD「A Study in helix」発売&in Storeライブを開催
- ・3月25日(金)から3月26日(土)にかけて、ソウル弘大地区のAlternative Space LoopとLATINOにて、韓国の同世代のアーティスト7人とともに24時間イベント「40展」開催、イベント終了後の3月27日(日)～4月7日にAlternative Space Loopにて展覧会「40展」開催
- ・5月24日(火)～5月29日「40(サーブ)展」記録展(向島RICE+)
- ・5月24日、バルコキノシタ、バースデーイベント「突撃ハルコの晩ご飯へようこそ！」開催(向島RICE+)
- ・5月26日、小沢剛、バースデー企画「ベジタブルウェポン向島バージョン」を制作(向島RICE+)
- ・5月29日、バルコキノシタプロデュース「向島演芸会～昭和40年会大喜利大会」を開催(現代美術製作所)
- ・6月3日(金)～7月18日、広島市現代美術館にて展覧会「40×40プロジェクト 七人も侍」開催、期間中、7月16日の土佐正道バースデーイベントを含め、各メンバーのトーク、パフォーマンス、ワークショップなどを開催
- ・7月10日(日)～8月21日(日)「昭和40年会のサマージャンボ夏祭り2005」(表参道NADiff)「40×40プロジェクト」記念の昭和40年会グッズ制作に加え、期間中各メンバーが一日店長を担当し、大岩オスカル幸男の「消しゴム彫刻ワークショップ」などを開催
- ・10月21日～11月20日「七人の小侍+1」展(銀座ANPONTAN)
- ・10月28日(金)～12月18日「BankART Life - 24時間のホスピタリティ-」(横浜BankART Studio NYK)
- ・美学校にて「昭和40年会の4040(ヨレヨレ)アートコース」開講
- ・東京大学教養学部にて「あなたと現代アート 昭和40年から現在まで」開講
- ・美術手帖誌にて「昭和40年会の7人も侍」連載中
- ・カルチャーウェブマガジン「REALTOKYO」にて「昭和40年会の東京案内」連載中

同時開催：展覧会

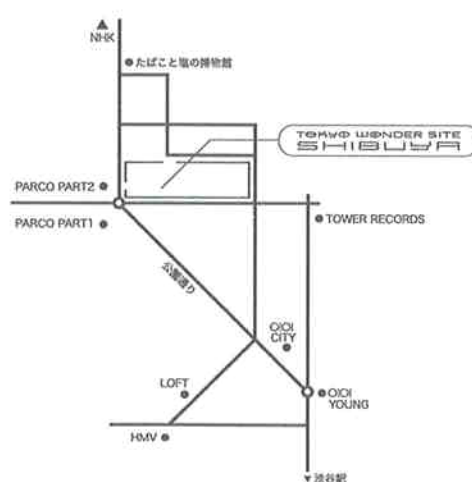
## 「都市へアクション！ベルリンー東京」

KUNST-AKTION ! fur die Stadt BERLIN-TOKYO

会場 トーキョーワンダーサイト渋谷  
 会期 平成17年11月11日(金)～12月18日(日)  
 開館時間 11:00～19:00(入場は開館30分前まで)  
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
 関連企画 11月11日(金)TWS渋谷にてオープニング・パーティー  
 11月12日(土)代々木公園でのHIPHOPイベント

●その他 ワークショップ/レクチャー開催  
 (詳細はTWS渋谷までお問合せください)

## [MAP]



TOKYO WONDER SITE  
 SHIBUYA

トーキョーワンダーサイト渋谷  
 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8  
 1-19-8 Jinan Shibuya-ku Tokyo 150-0041 Japan  
 TEL:03-3463-0603/FAX:03-3463-0605  
 http://www.tokyo-ws.org e-mail:info@tokyo-ws.org